



救 急 解 説

1 救急事故の種別

救急事故等の種別を次の11種に分類する。

(1) 火災事故

火災現場において直接、火災に起因して生じた事故をいう。

(2) 自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

(3) 水難事故

水泳中（(6) 運動競技によるものを除く。）の溺者又は水中転落等による事故をいう。

(4) 交通事故

すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

(5) 労働災害事故

各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。

(6) 運動競技事故

運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故（ただし、観覧中の者が直接運動競技用具等によって負傷したものは含み、競技場内の混乱によるものは含まない。）をいう。

(7) 一般負傷

他に分類されない不慮の事故をいう。

(8) 加 害

故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

(9) 自損事故

故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。

(10) 急 病

疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。

(11) その他

転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数の内、(1) から (10) の救急事故に分類不能のものを含む。）をいう。

2 死傷者の分類

死傷者の程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5類に分類する。

(1) 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの

(2) 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

(3) 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

(4) 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの

(5) その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

3 年齢区分

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者

4 不搬送理由

- (1) 辞退(到着前)：現場到着前に本人等(意思決定者や警察等を含む)から要請の取り下げがあり、途中引揚げしたもの。
- (2) 辞退(到着後)：現場到着後に本人等(意思決定者や警察等を含む)が搬送希望を取り下げ救急隊も搬送の必要性はないと判断したもの。
- (3) 拒否：救急隊は搬送の必要性があると判断したが、本人等が搬送を拒否したもの。
- (4) 明らかな死亡：救急隊到着時、傷病者が明らかに死亡しており、搬送しなかったもの。
- (5) 他車(隊)搬送：消防機関の他車(隊)により、傷病者が医療機関等に搬送されたもの。
- (6) 傷病者なし：事故等の事実はあるが、傷病者が発生しなかったもの。
- (7) 誤報・いたずら：事故等の事実がなく、救急隊が誤報やいたずらと判断したもの。
- (8) その他：(1)から(7)以外のもの

5 応急処置

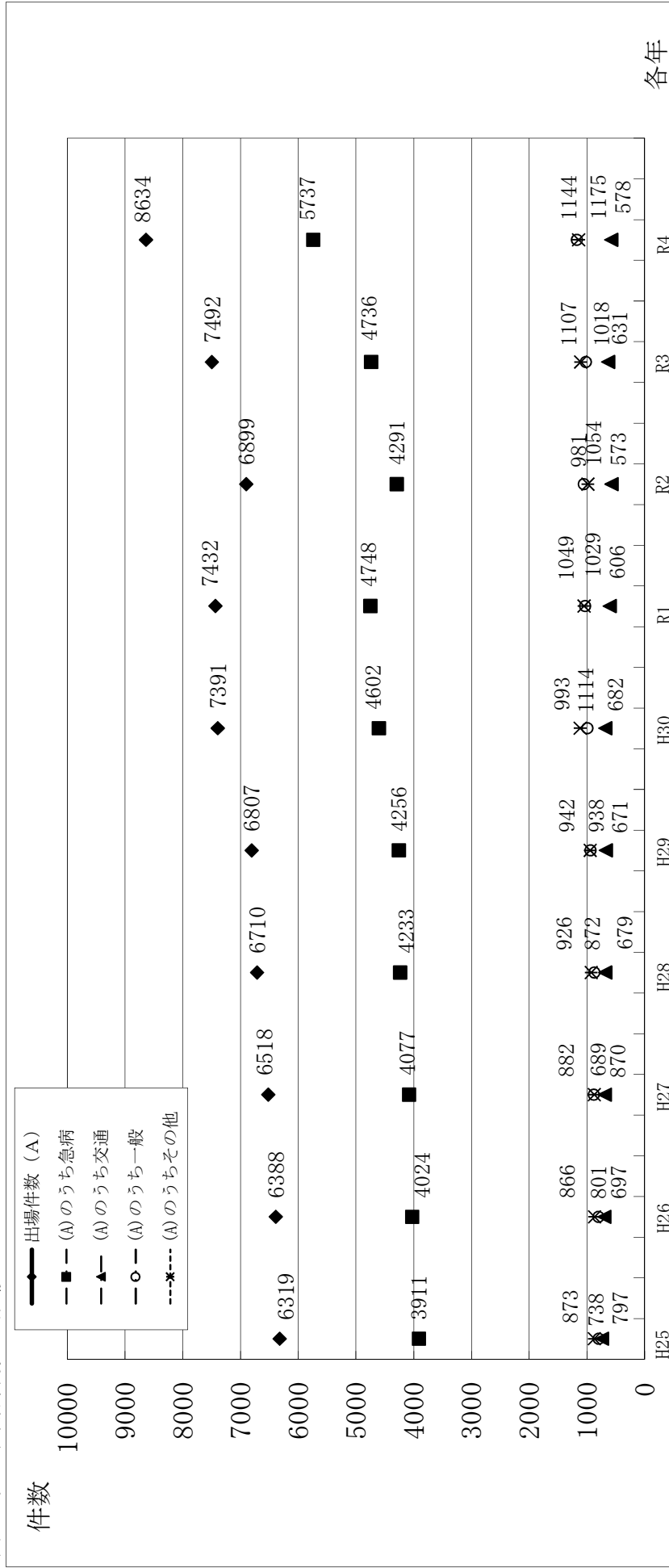
- (1) 止血：止血帯、包帯等による止血処置
- (2) 固定：副子等による固定又は安静保持
- (3) 人工呼吸：口移し又は器具等による人工呼吸
- (4) 心マッサージ：胸骨圧迫
- (5) 心肺蘇生：心肺蘇生法
- (6) 酸素吸入：酸素吸入器による酸素吸入
- (7) 気道確保：気道確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
- (8) ラリングアルマスク等：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
- (9) 気管挿管：気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
- (10) 保温：傷病者の傷病状況から体温を保持する必要がある場合に行う保温処置
- (11) 被覆：創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護
- (12) 在宅療法：在宅療法継続中の傷病者に対し、その療法維持のために行った必要な処置
- (13) ショックパンツ：ショックパンツを使用した血圧保持の処置(骨折肢の固定を含む)
- (14) 除細動：重度傷病者に対して行う自動体外式除細動器(AEDを含む)による除細動
- (15) 血糖測定：血糖測定器(自己検査用グルコース測定器)を用いた血糖測定
- (16) 静脈路確保：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、

心肺機能停止状態の患者に対する静脈路確保及び輸液

- (17) ショック輸液：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、心肺機能停止前の患者に対する静脈路確保及び輸液
- (18) アドレナリン投与：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンを用いた薬剤の投与
- (19) ブドウ糖溶液投与：救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ブドウ糖溶液を用いた薬剤の投与
- (20) 血圧測定：血圧計を使用する際の血圧測定
- (21) 心音・呼吸音等：聴診器を使用する際の心音・呼吸音等の聴取
- (22) 血中酸素飽和度の測定：血中酸素飽和度測定器を使用する際の血中酸素飽和度の測定
- (23) 心電図：心電図計を使用する際の心電図の測定
- (24) その他の応急処置：(1) から (23) 以外のもの

1 救急

(1) 救急出場件数の推移



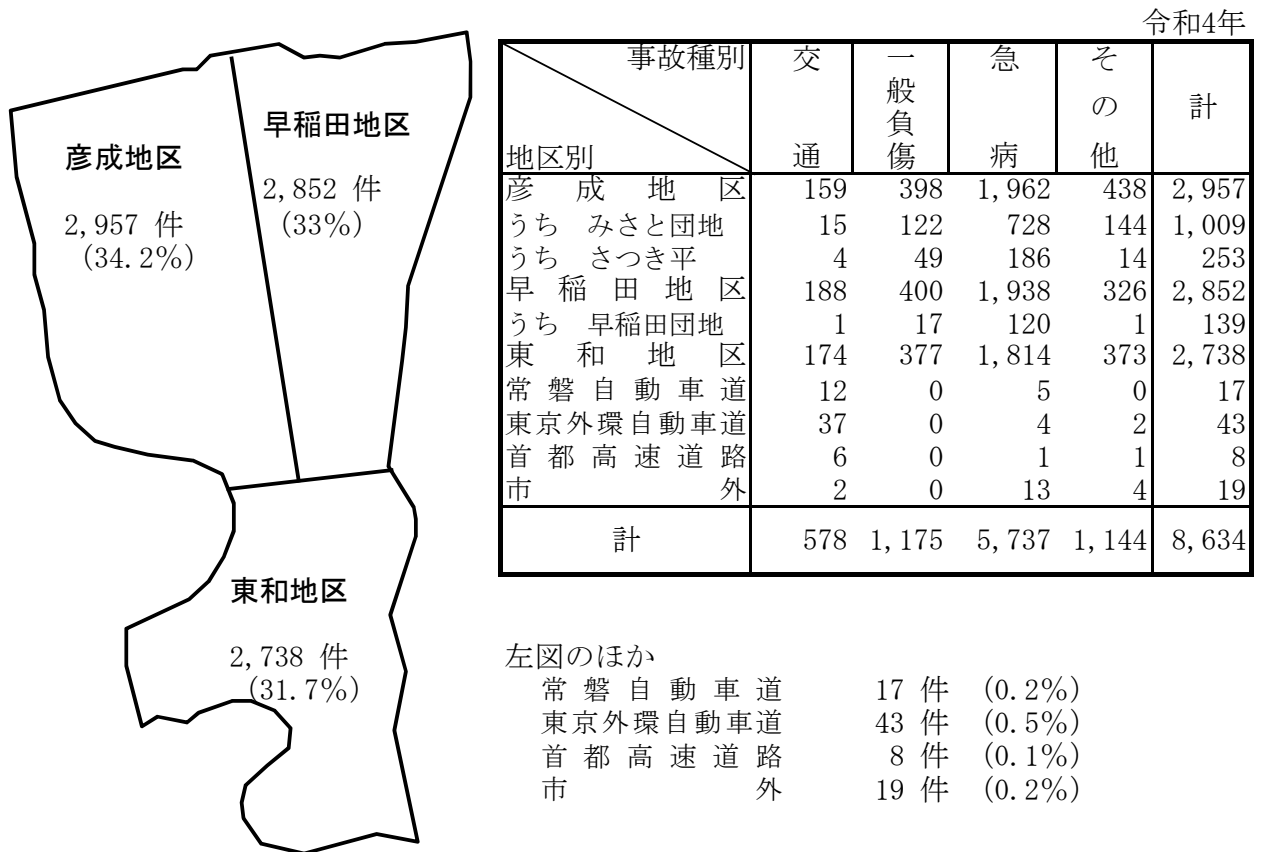
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出場件数 (A)	6,319	6,388	6,518	6,710	6,807	7,391	7,432	6,899	7,492	8,634
(A)のうち急病	3,911	4,024	4,077	4,233	4,256	4,602	4,748	4,291	4,736	5,737
(A)のうち交通	738	697	689	679	671	682	606	573	631	578
(A)のうち一般	797	801	882	872	938	993	1,029	1,054	1,018	1,175
(A)のうちその他	873	866	870	926	942	1,114	1,049	981	1,107	1,144
搬送人員	5,504	5,611	5,707	5,657	5,693	6,052	6,022	5,492	5,858	6,427

(2) 救急出場状況

令和4年

区分	事故種別										計				
	火	自然災害	水	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他			
曜日・月別	火	自然災害	水	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資材等搬送	その他	計
月	1	1	1	95	13	3	188	7	10	918	98			37	1,371
火	7	3	3	87	17	1	155	6	10	806	106		1	27	1,226
水	3	1	1	89	11	2	155	5	14	828	96			20	1,224
木	5	1	1	76	14	6	167	7	12	782	110			30	1,211
金	4			79	19	2	154	4	21	771	97			36	1,187
土	5	1	1	82	9	7	180	8	10	815	67			42	1,226
日	5	3	3	70	3	23	176	10	13	817	33			36	1,189
計	30	1	10	578	86	44	1,175	47	90	5,737	607	1	228		8,634
1月	6	3	3	39	4	1	114	2	10	465	49			18	711
2月	3	1	1	40	8	2	86	2	9	397	41			13	602
3月	2	1		55	12	3	98	2	5	440	45			20	683
4月	1		1	47	12	2	79	2	6	418	41			24	633
5月	4			35	7	3	105	6	8	455	37			10	670
6月	1	1	1	66	5	5	111	2	8	440	52			18	709
7月		1	1	46	7	4	93	6	6	628	59			27	877
8月	4	1	1	43	8	7	83	8	9	614	64		1	28	870
9月	2	1	1	42	6	3	96	4	8	432	49			19	662
10月	3			53	4	6	98	5	10	452	53			13	697
11月	2			66	6	5	97	7	7	466	43			18	717
12月	2	1	1	46	7	3	115	1	4	530	74			20	803

(3) 地区別救急出場状況



(4) 署別救急出場状況

令和4年

事故種別	交 通	一 般 負 傷	急 病	そ の 他	計	搬 送 人 員
署別						
本署	278	510	2,410	479	3,677	2,751
南分署	123	254	1,276	246	1,899	1,354
北分署	177	411	2,051	419	3,058	2,322
計	578	1,175	5,737	1,144	8,634	6,427

(5) 時間別救急出場件数

令和4年

時間帯	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
0時～2時	1			16	3		32	8	7	299	25	391
2時～4時	1			6			31	1	3	239	17	298
4時～6時	1			12	2		36	3	7	248	16	325
6時～8時	2		1	62	2		79	2	7	397	21	573
8時～10時	4	1	2	84	11	5	142	2	5	626	71	953
10時～12時	4		2	56	21	9	137	5	11	663	154	1,062
12時～14時	2		1	64	12	11	141	3	12	587	147	980
14時～16時	5			72	14	11	137	2	8	614	109	972
16時～18時	4		3	81	13	5	133	7	7	587	132	972
18時～20時	4			77	5	2	126	2	10	568	65	859
20時～22時	2		1	29	1	1	96	5	7	518	48	708
22時～24時				19	2		85	7	6	391	31	541
計	30	1	10	578	86	44	1,175	47	90	5,737	836	8,634

(6) 事故種別年齢区分別搬送人員

令和4年

年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児							1			4	32	37
乳幼児				6		1	75			228	9	319
少年				34	1	19	43		1	91	5	194
成人		1	1	260	59	19	130	18	39	1,189	184	1,900
高齢者	1		2	118	20	1	683	4	7	2,765	376	3,977
計	1	1	3	418	80	40	932	22	47	4,277	606	6,427

(7) 事故種別傷病程度別搬送人員

令和4年

傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡			1				4		10	111		126
重症				26	4		68	1	8	300	98	505
中等		1	1	61	24	5	270	2	17	1,866	472	2,719
軽症	1		1	331	52	34	588	19	12	1,995	36	3,069
その他						1	2			5		8
計	1	1	3	418	80	40	932	22	47	4,277	606	6,427

(8) 事故種別不搬送理由別不搬送件数

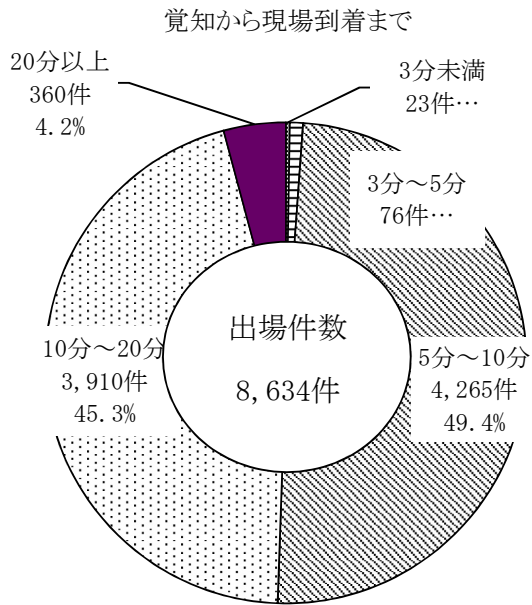
令和4年

事故種別 不搬送理由	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
辞退(到着前)				1			1			13	2	17
辞退(到着後)				149	5	3	201	19	19	1,160	59	1,615
拒否	2			9			40	4	4	92	20	171
明らかな死亡	1		3		1		1		13	111		130
他車(隊)搬送			1	4						4		9
傷病者なし	20			6			1		1	3	28	59
誤報・いたずら	5		1							2	82	90
その他	1		2	8		1	4	2	6	78	40	142
計	29		7	177	6	4	248	25	43	1,463	231	2,233



救急車の適正利用をお願いいたします。

(9) 現場到着所要時間別出場件数

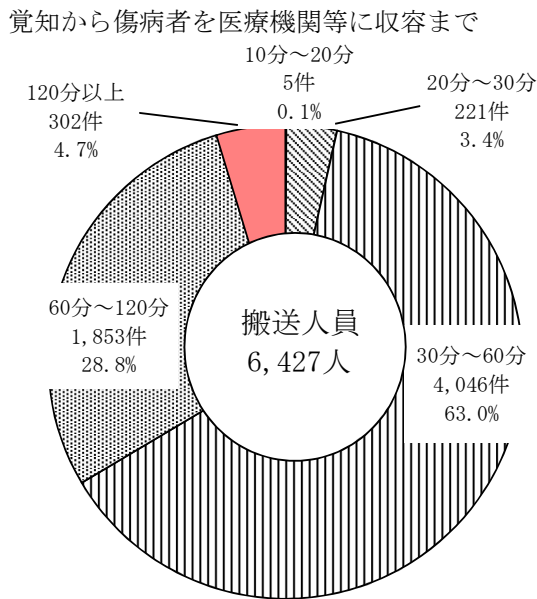


現場到着
☆
最短所要時間 0分

現場到着
☆
最長所要時間 63分

現場到着
☆
平均所要時間 10.4分

(10) 収容所要時間別搬送人員



収容所要時間
☆
最短収容時間 16分

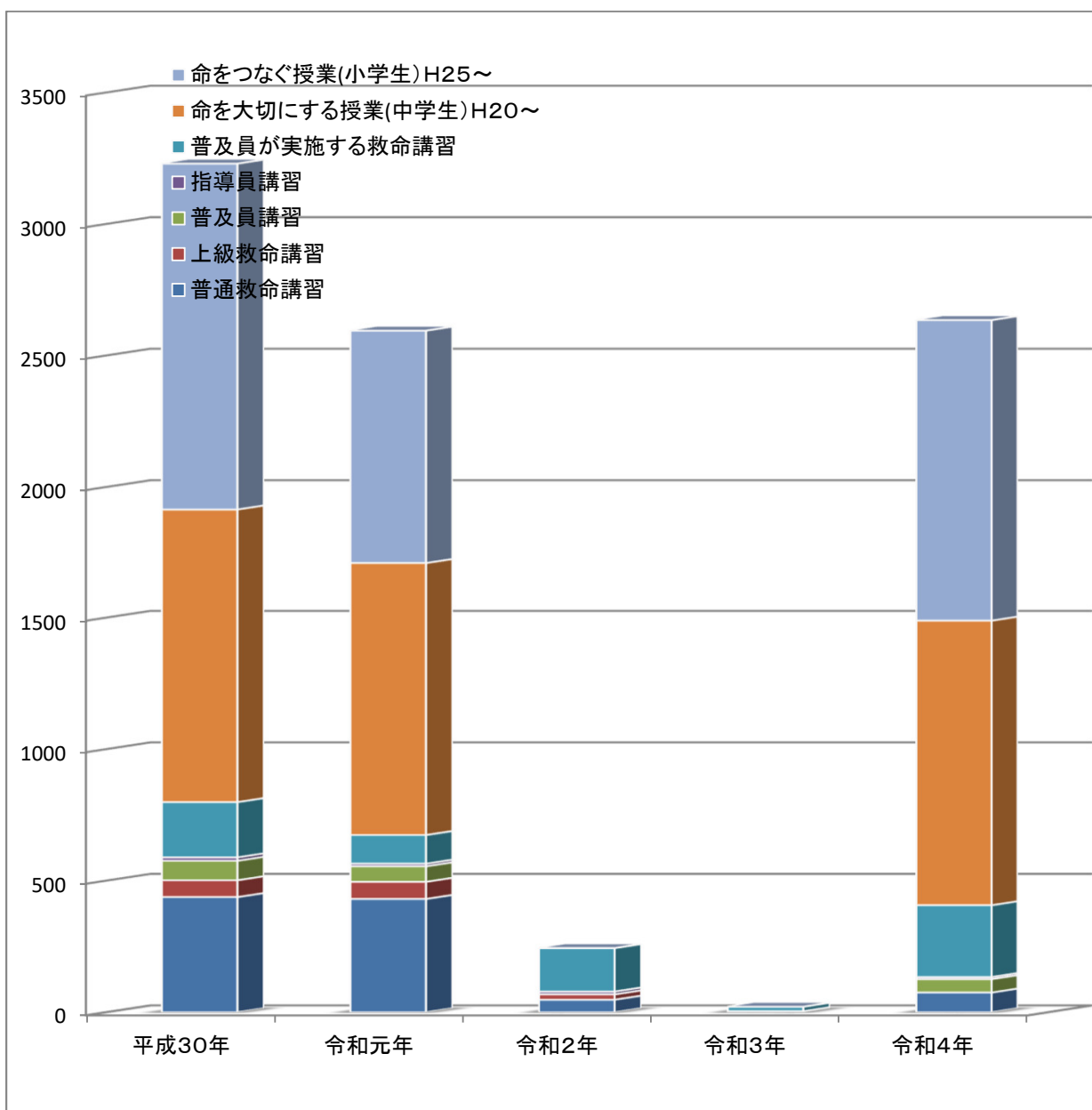
収容所要時間
☆
最長収容時間 723分

収容所要時間
☆
平均収容時間 59.3分

(11) 応急手当講習受講者状況

応急手当講習受講者状況

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
普通救命講習 (入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	438	431	48	0	75
上級救命講習	64	65	20	0	0
普及員講習	74	59	0	0	51
指導員講習	13	10	11	4	8
普及員が実施する救命講習	210	109	165	17	273
命を大切にする授業(中学生)H20～	1,116	1,034	0	0	1,082
命をつなぐ授業(小学生)H25～	1,315	887	0	0	1,146
受講者総数	3,230	2,595	244	21	2,635



2 救 助

(1) 救助出動状況

令和4年中

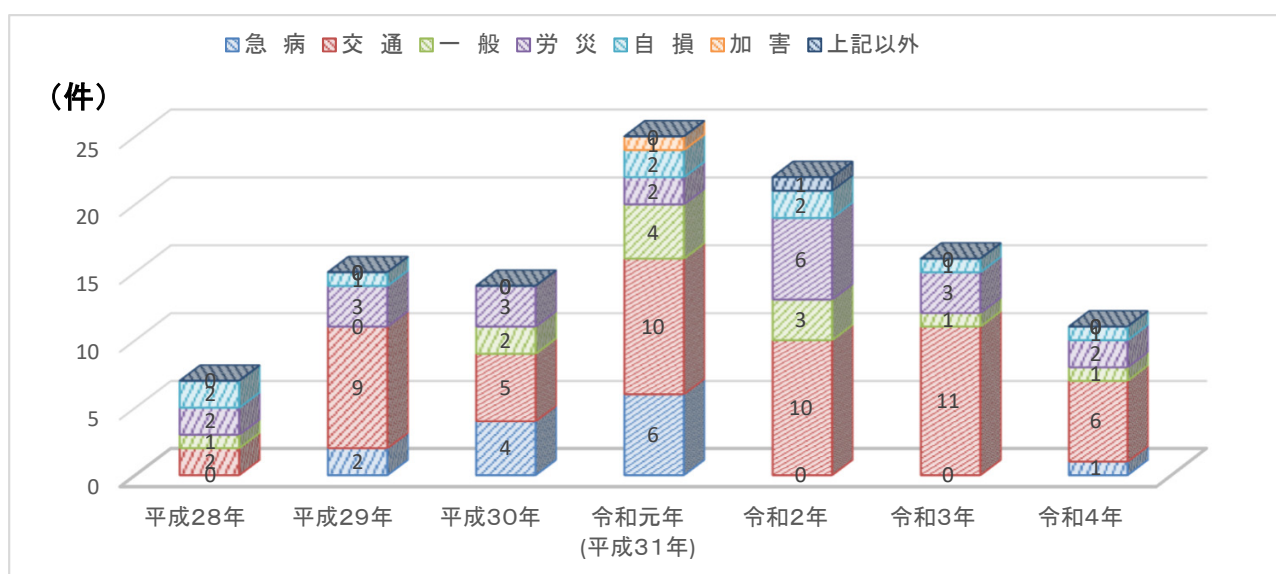
事故種別 区分	火	災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
	出動件数	4[0]	4[0]	59	8	0	3	27	0	0	14
活動件数	4[0]	4[0]	15	6	0	1	24	0	0	6	56
救助人員	0[0]	0[0]	16	5	0	1	17	0	0	5	44
出動人員	29[0]	29[0]	158	32	0	10	26	0	0	50	305
	101[0]	101[0]	454	67	0	13	104	0	0	104	843
	15[0]	15[0]	202	24	0	9	72	0	0	36	358
計	145[0]	145[0]	814	123	0	32	202	0	0	190	1506
救助工作車	4[0]	4[0]	33	7	0	2	6	0	0	10	62
消防ポンプ車	20[0]	20[0]	91	16	0	3	28	0	0	23	181
救急自動車	5[0]	5[0]	67	8	0	3	25	0	0	12	120
その他	8[0]	8[0]	66	24	0	1	7	0	0	18	124
計	37[0]	37[0]	257	55	0	9	66	0	0	63	487

[] 建物以外

(2) ドクターヘリ要請件数

ドクターヘリ要請件数（過去7年間）

事故種別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年
急病	0	2	4	6	0	0	1
交通	2	9	5	10	10	11	6
一般	1	0	2	4	3	1	1
労災	2	3	3	2	6	3	2
自損	2	1	0	2	2	1	1
加害	0	0	0	1	0	0	0
上記以外	0	0	0	0	1	0	0
合計	7	15	14	25	22	16	11



(3) 救急支援出場件数

救急支援出場件数（過去7年間）

※管内別

事故種別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年中)	令和2年	令和3年	令和4年
合計	1002	1097	1353	1377	1,262	1,202	1,182
本署	191	217	280	287	320	285	260
南分署	365	349	435	454	362	367	352
北分署	446	531	638	636	580	550	570

注：救急支援出場・・・救急支援出場とは、消防車と救急車が同時に救急現場へ出動すること又は救急隊全隊が出動した際、消防車が先行して出動することです。
救急車内への収容補助・応急処置・交通事故現場での救急活動スペース確保など救命率向上・被害の軽減を目的としています。